

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【公表番号】特表 2017-502501 (P2017-502501A)
 【公表日】平成 29 年 1 月 19 日 (2017.1.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-003
 【出願番号】特願 2016-532145 (P2016-532145)
 【国際特許分類】

H 0 1 S 3/081 (2006.01)
 H 0 1 S 3/00 (2006.01)
 H 0 1 S 3/30 (2006.01)
 H 0 1 S 3/083 (2006.01)
 G 2 1 K 5/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 S 3/081
 H 0 1 S 3/00 A
 H 0 1 S 3/30
 H 0 1 S 3/083
 G 2 1 K 5/02 X

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 12 月 12 日 (2016.12.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

独立した 2 つ以上のレーザーをそれぞれ増幅する共振鏡を備え、該共振鏡間に 2 つ以上のレーザーを周回させるレーザー光を形成させ、該レーザー光路を交差させる光学系を備える光共振器であって、2 つ以上の偏向レーザーを独立して周回させることを特徴とする光共振器。

【請求項 2】

前記レーザー光路の交差位置に電子ビーム導入部が挿入される光共振器であって、2 つ以上の偏光レーザーを独立して周回させ、前記偏光レーザーに電子ビームが照射され、偏光 X 線を発生させる請求項 1 に記載の光共振器。

【請求項 3】

前記偏光レーザーが偏光成分に分離された偏光レーザーであり、該偏光成分に電子ビームが照射され、偏光 X 線を発生させる請求項 1 に記載の光共振器。

【請求項 4】

前記偏光レーザーが偏光成分に分離された偏光レーザーであり、該偏光成分に電子ビームが照射され、偏光 X 線を発生させる請求項 2 に記載の光共振器。

【請求項 5】

前記偏光レーザー光路の交差位置に干渉縞を形成させる請求項 1 に記載の光共振器。

【請求項 6】

前記偏光レーザーの交差位置の干渉縞に電子ビーム導入部が挿入され、干渉縞に電子ビーム照射され、X 線を発生させる請求項 5 に記載の光共振器。

【請求項 7】

前記光共振器として３次元８鏡光共振器が用いられる請求項１に記載の光共振器。

【請求項 ８】

前記光共振器として３次元８鏡光共振器が用いられる請求項２に記載の光共振器。

【請求項 ９】

前記光共振器として３次元８鏡光共振器が用いられる請求項３に記載の光共振器。

【請求項 １０】

前記光共振器として３次元８鏡光共振器が用いられる請求項４に記載の光共振器。

【請求項 １１】

前記光共振器として３次元８鏡光共振器が用いられる請求項５に記載の光共振器。

【請求項 １２】

前記光共振器として３次元８鏡光共振器が用いられる請求項６に記載の光共振器。